

平成30年3月14日

泉区地域振興課長

住所 横浜市泉区和泉が丘1-1-19
団体名 特定非営利活動法人泉南会
代表者名 理事長 佐藤俊男

平成30年度 事業計画書の提出について

平成30年度 施設名: 下和泉地区センター に係る事業計画書について、以下のとおり提出します。

1 提出書類

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書兼決算書【様式3】(予算欄のみ記入)
- (3) 資金計画書
- (4) 自主事業計画書
- (5) 自主事業別計画書(単表)
- (6) 自己評価表【様式13】(目標欄のみ記入)
- (7) 請求書(4月分及び5月分各1枚)
- (8) 定期支出申込書(6月分以降を記載したもの)

担当

連絡先

045-805-0026

運営方針		☆下和泉地区センターを地域コミュニティの醸成・地域連帯意識の形成の場と捉え、泉区の魅力ある地域社会づくりに当地区センターが不可欠な存在となるように施設を運営していきます。
		☆地域住民の自主的な活動や相互交流を通じて豊かな地域社会を形成していく拠点として、地域の課題やニーズに対応しつつ地域に密着した運営を行います。
		☆当館の指定管理者は、連合町内会の代表が当たっているため、地域住民の声を反映して主体的に管理運営にあたっていきます。
運営計画	運営体制	☆地域住民が気軽に立ち寄り相互交流が出来るよう施設の活用や利用方法を工夫していきます。
	利用者実績・稼働率	☆利用者ニーズに応じた内容の自主事業の実施を図り、利用者増につながるようにします。また、図書利用の目的で来館する人たちのために、図書の紹介や新着本の充実を図ります。
	緊急時・防犯・防災対策等	☆危機管理意識の徹底を図り緊急時の対応・連絡網、避難訓練・消防訓練など日頃から職員間の周知を徹底していきます。
サービス向上	利用方法	☆利用者に公正かつ公平に利用いただけるよう分かりやすい利用案内、ホームページ、広報などに心掛け、「あなたの声」を設置するなど利用者ニーズを反映し易い環境を作っていくようにしていきます。
	広聴、ニーズ把握	☆地域内の自治会・町内会長全員を対象に意見交換会を開催し、地域の要望収集に努めていきます。☆利用者会議やイベントの後の反省会、アンケート等により利用者のニーズを把握し、利用者とのコミュニケーションの場を持つ機会を計画していきます。また、それらの結果を十分に把握し、次回の実施に生かす仕組みを作ります。
	事故対応・対策（保険）等	☆事故を未然に防ぐために施設内点検を日々励行し、変化を見逃さないように報告できる体制づくりに努めます。事故の場合には行政への報告、施設・事故賠償保険に加入しています。
地域・住民との連携	地区センター委員会	☆地元の自治会・町内会、小・中学校、地域のボランティア団体で構成している委員から地区センターの運営に対し意見具申の機会を設けるようにしています。
	利用者会議	☆地域住民・利用者の代表で構成する地区センター委員会や利用者から構成される利用者会議を定期的で開催し、会議で出された意見を施設運営に反映させていきます。 ☆事業の実施に当たっては、チラシの回覧から準備など全面的に連合や町内会の協力を得て取り組んでいきます。
収支計画	利用料金収入実績	☆自主事業修了後の自主活動グループの立ち上げの協力、地域住民の輪を形成できるよう支援し、施設利用の活発化を図り施設利用料の目標額を達成します。その結果、利用者へのサービスとしての還元を増やせるようにします。
	指定管理料の執行	☆指定管理料の執行は、計画的な執行を図り、無駄な支出を失くすようにします。特に光熱水費の無駄遣いをなくすようにケアプラにも呼びかけるようにする。
	経費節減等の取組	☆省エネルギーへの取組むを通じて光熱水費の削減を図ります。 ☆稼働率の低い時間帯・部屋の仕様を拡大し利用し易い、施設の稼働率の向上を図ります。
施設の維持管理	管理・点検、修繕	☆定期的な建築設備の保守・点検のほか、日常的な施設の見回りにより不具合箇所の早期発見に努め、計画的な施設の長寿命化を図るとともに、施設修繕費の削減に努めます。
	備品等の管理	☆小破修繕では対応出来ない不具合については行政との情報の共有化を図り、早期の対応を働きかけていきます。
	環境への取組	☆備品の管理簿を付け、行政財産と指定管理者のものを区別し分類別に仕分けして置きます。
個人情報保護	特記事項の取組状況	☆職員・スタッフに対して個人情報保護に関する教育を継続して実施していきます。
	情報公開	☆施設運営に当たって利用者から集める個人情報は必要最低限にとどめます。
		☆保管場所・方法、暗証番号の設定、管理責任者等について定めた個人情報管理規定を設けて厳密な管理を行います。
その他		☆みなみコミュニティハウスとの連携をし、相互の特徴を活かした自主事業やイベントの企画・実施に努め、効率のよい管理運営を行っていきます。 ☆地域の活性化のために行政、学校、自治会町内会、地域の団体の協力を得て連携を図り福祉向上に努めていきます。

平成30年度 「横浜市下和泉地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,604,000		37,604,000		37,604,000	横浜市より
利用料金収入	3,254,000		3,254,000		3,254,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	123,000		123,000		123,000	
自主事業収入					0	
雑入	408,000	0	408,000	0	408,000	
印刷代	171,000		171,000		171,000	
自動販売機手数料	129,000		129,000		129,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（カラオケ通信使用料、他）	108,000		108,000		108,000	
収入合計	41,389,000	0	41,389,000	0	41,389,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	20,849,000	0	20,849,000	0	20,849,000	
給与・賃金	18,488,000		18,488,000		18,488,000	
社会保険料	1,617,000		1,617,000		1,617,000	
通勤手当	618,000		618,000		618,000	
健康診断費	126,000		126,000		126,000	
福利厚生費	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	2,337,000	0	2,337,000	0	2,337,000	
旅費	60,000		60,000		60,000	
消耗品費	606,000		606,000		606,000	
会議賄い費	155,000		155,000		155,000	
印刷製本費	55,000		55,000		55,000	
通信費	170,000		170,000		170,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	140,000		140,000		140,000	
図書購入費	300,000		300,000		300,000	
施設賠償責任保険	19,000		19,000		19,000	
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	340,000		340,000		340,000	※AEDレンタル料含む
手数料	40,000		40,000		40,000	
地域協力費	347,000		347,000		347,000	
事業費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	※ワンパク事業費含む
自主事業費			0		0	
管理費	13,618,000	0	13,618,000	0	13,618,000	
光熱水費	8,834,000	0	8,834,000	0	8,834,000	
電気料金	4,034,000		4,034,000		4,034,000	
ガス料金	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
水道料金	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
清掃費	750,000		750,000		750,000	
修繕費	950,000		950,000		950,000	
機械警備費	310,000		310,000		310,000	
設備保全費	2,774,000	0	2,774,000	0	2,774,000	
空調衛生設備保守	1,001,000		1,001,000		1,001,000	
消防設備保守	100,000		100,000		100,000	
電気設備保守	396,000		396,000		396,000	※エレベーター定期点検
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000		300,000	
その他保全費	977,000		977,000		977,000	
駐車場設備保全費			0		0	
共益費			0		0	
公租公課	2,000,000	0	2,000,000	0	2,000,000	
事業所税	330,000		330,000		330,000	
消費税	1,670,000		1,670,000		1,670,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	500,000	0	500,000	0	500,000	
本部分			0		0	
当該施設分	500,000		500,000		500,000	
二一ズ対応費	1,085,000	0	1,085,000	0	1,085,000	
支出合計	41,389,000	0	41,389,000	0	41,389,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
1.七夕まつり（体験）	小学生以下	80,000	80,000	0	80,000		0
	300						
	0						
2.ワンパクフェスティバル 青少年導員、体育指導員の協 力で行う（物を作って遊ぶ）	小学生以下	100,000	100,000	0	0	100,000	0
	300						
	0						
3. ボランティアによる子ども 対象事業（卓球、ピアノ、 書道、そろばんなど）	子供	124,000	100,000	24,000		124,000	
	30*4						
	200						
4. 夏休み体験 （工作・科学・化学など）	子供	46000	30,000	16,000	20,000	26000	
	20*4						
	200						
5. 夏休み読書チャレンジ	子供	5,000	5000	0	0		5,000
	120						
	0						
6. 地区センター歌のつどい （サークル編・家族編）	一般男女	75,000	15000	60,000	0		75,000
	120						
	500円						
7. 卓球大会（中学生の卓球部 協力）	中学生以上	60000	20,000	40,000		40,000	20,000
	80						
	500円						
8. クリスマス会	小学生以下	120,000	120,000	0	100,000	20,000	0
	300						
	0						
9. お相撲さんと餅つき大会	一般・子供	150,000	150,000		100,000	50,000	
	300						
	0						
10. スプリング・フェスティ バル（ヤングフェスタ）	一般男女	ニーズ対応	0	0	0	0	0
	4,000						
	0						
11. ボランティアによる 歌声広場	一般男女	12,000	12,000	0	0	12,000	0
	30*4						
	0						
12. 親子（幼児）対象講座 （語学、クッキング、癒し）	親子	74,000	38,000	36,000	50,000	24,000	
	30*4						
	300						
13. 地域を知る	一般男女	20,000	20,000	0	20,000		
	50*4						
	0						
14. 語学・趣味講座	一般男女	184,000	100,000	84,000	90,000	50,000	44,000
	20*5						
	400						

(様式3)

15. 吊るし雛を作りました	一般	90,000	30,000	60,000	30,000	60,000	
	20						
	3000						
16. 手作り味噌教室	一般	90,000	30,000	60,000	10,000	80,000	
	20						
	3000						
17. ゆめが丘農園の苺で作るクリスマスケーキ	子ども	40,000	20,000	20,000	10,000	30,000	
	20						
	1000						
18. チームプロジェクト「中庭を創る」	一般	ニーズ対応	0				
	20						
	0						
19. 食文化を楽しむ会	一般	150,000	70,000	80,000	20,000	100,000	30,000
	20*4						
	1000						
20. 趣味を語る会	一般	50,000	50,000			50,000	
	フリー						
	0						
21. その他（健康講座）	一般男女	385,000	10,000	375,000	250,000	120,000	15,000
	30*5						
	2500						
合計		1,855,000	1,000,000	855,000	780,000	886,000	189,000

平成30年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 横浜市下和泉地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1. 七夕まつり	子供たちの願いを書いた短冊を大竹に飾り付け、エントランスに展示します。プロによるパフォーマンスを観覧し、日頃体験できないことを行います。お土産に、家庭でも年中行事を楽しめるように、青少年指導員が早朝から刈り取ってくれた笹と、七夕飾りセットをもらいます。竹や笹は地域の方のご厚意で寄付していただいているもので、参加者も毎年楽しみにしています。	6月 1回
2. ワンパクフェスティバル	地域の連合町内会・自治会の協力による、地域あげての子供を対象としたお祭り。青少年指導員、スポーツ推進委員、主任児童委員と一緒にスポーツやゲーム大会で汗を流し、お昼には女性部手作りのカレーライスを皆で食べます。帰りには、経営委員会の方が作ったポップコーンのお土産をもらいます。企画会議から実施まで、各有志や任意団体の方々の尽力による地域力のフェスティバルです。	7月 1回
3. ボランティアによる授業	技術(そろばん、ピアノ、習字、卓球、学習など)を持った地域の方々に(ボランティアに)よる授業を行っていただく教室。	通年 50回
4. 夏休み体験授業	夏休み体験講座工作や化学実験、科学について日頃体験できないことをボランティアや企業にお願いして行います。	7月～8月 4回
5. 夏休み読書チャレンジ	活字離れを止めたいという願いから、地域の子どもたちに余暇の時間を活用して夏休みの間に何冊読めるかチャレンジをしてもらいます。ポイントが貯まると景品がもらえます。	7～8月 1回
6. 地区センター歌のつどい	カラオケを利用のサークルの代表が実行委員会組織を作り、開催から運営まで利用者が執り行っています。町内別の老人会や歌の好きな仲間、講師など参加者は個性豊かな方々です。地域の人たちが出演されるので、観に来る人も多く、大変温かな雰囲気にもまれる歌の集いです。	10月 1回
7. 卓球大会	利用者同士の交流を図る目的で始めた大会です。日頃から一人だけで卓球に来て気軽に声を掛けて、相手をしてくれる人がいたり、子供が危ないことをしているのを見かけたら、声を掛けるなど地域の人たちならではの大きな輪に発展しています。年に1回中学校の卓球クラブの生徒と世代間交流を楽しみます。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
8. クリスマス会	地域の子供達と一緒に迎えるクリスマス会。人形劇やジャグリングパフォーマンスなどで楽しんだ後にサンタさんからお楽しみプレゼント。地域の町内会長の皆さんがサンタクロースに扮します。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
9. お相撲さんと餅つき大会	地域の子供から大人まで餅つきや力比べを力士と行い、参加者にはお相撲さんの力強さを体感してもらいましょう。つきたてのお餅をみんなで食べます。	1月1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
10. スプリングフェスティバル（ヤングフェスティバル）	地区センターを利用しているサークルの発表会です。また、ヤングフェスティバルは近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校の幼児から生徒さんまで遊戯や吹奏楽を発表してもらいます。毎年大勢の人が観に来られます。	2月2日間
事業名	目的・内容	実施時期・回数
11. ボランティアの歌声広場	毎回盛況の歌声広場で受付から30分程度で満員になります。演歌や童謡をピアノや三味線の伴奏で賑やかに繰り広げられます。	4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
12. 親子対象講座	クッキングや語学を親子で楽しめます。若いお父さんやおばあちゃんが参加して日頃家庭では味わえない親子愛を垣間見られます。	4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
13. 地域を知る	地域の歴史を独自で研修したり、一筋に技を磨いてこられた方々に講師になっていただきご自分の体験を聴き、地域の歴史や人物を知る機会になります。	4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
14. 語学や趣味の講座	生涯学習の一環として自分みがきや仲間を作る機会にしてください。	20回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
15. 泉南吊るし雛	子どもから孫へ伝えたいという思いを形にしたもの。吊るし雛を1年間掛けて作ります。3月の雛祭りにセンターのエントランスに全員の作品を展示。	年間10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
16. 泉南味噌作り	開館以来続いている講座です。毎年大人気の講座で、健康に良い塩分控えめの味噌を男性も参加されます。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
17. 地産地消事業	近くのイチゴ農園のイチゴを使ってクリスマスケーキを作ります。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
18. チームプロジェクト「中庭の緑化」	センターの中庭の庭園づくりをボランティアの協力で行うもの。センターの庭はスギナやススキで覆われており、もったいないと思う人も利用者の中にはおられ、緑化されたら地域の人たちがもっと楽しめる庭になります。中庭の有効活用するために地域の人たちと作り上げる事業。	通年 6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
19. 食文化を楽しむ	外国の食事、行事のご馳走、素材の良さや栄養価、食の組み合わせなど食を通して食にまつわるお話を講師にしてください講座。	通年 4回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
20. 趣味を語る。	地区センターにはご自分の趣味で作られたものを持ってこられ、展示を希望される方々がおられる。作品を観て関心を持った人たちが集まり、親睦する。	通年 5回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
21. その他（健康講座）	ヨガ、エアロビック、体操、太極拳、医療講座など	通年 50回

平成 30 年度下和泉地区センター自己評価表

目標設定 の 視 点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利 用 者 サ ー ビ ス	1 利用者に公正かつ公平に利用いただけるよう分かりやすい利用案内、ホームページ、広報などに心掛け、「あなたの声」を設置するなど利用者ニーズを反映し易い環境を作っていきます。			
	2 利用者ニーズに応じた内容の自主事業の実施を図り、利用者増につながるようにします。また、図書利用の人たちに喜んでもらえるような、図書の充実を図ります。			
	3 利用者の笑顔こぼれる事業を通じて、参加者同士のコミュニケーションの場を増やすよう計画していきます。利用されている方々がもっと利用しやすいよう受付方法を見直し、同時に、まだセンターを利用したことない方々を発掘するよう工夫します。			
業 務 運 営	1 地域住民が気軽に立ち寄り、相互交流が出来るよう施設の活用や利用方法を工夫していきます。			
	2 事故を未然に防ぐために施設内点検を日々励行し、変化を見逃さないように報告できる体制づくりに努めます。 事故の場合には行政への報告、施設・事故賠償保険に加入しています。			
	3 危機管理意識の徹底を図り緊急時の対応・連絡網、避難訓練・消防訓練など日頃から職員間の周知を徹底してきます。			
	4 地元の自治会・町内会、小・中学校、地域のボランティア団体で構成している委員から地区センターの運営に対し意見具申の機会を設けるようにしています。			
	5 地域住民・利用者の代表で構成する地区センター委員会や利用者から構成される利用者会議を定期的開催し、会議で出された意見を施設運営に反映させていきます。			

様式 13

業務運営	6 事業の実施に当たっては、チラシの回覧から準備など全面的に連合や町内会の協力を得て取り組んでいきます。			
	7 定期的な建築設備の保守・点検のほか、日常的な施設の見回りにより不具合箇所の早期発見に努め、計画的な施設の長寿命化を図るとともに、施設修繕費の削減に努めます。			
	8 小破修繕では対応出来ない不具合については行政との情報の共有化を図り、早期の対応を働きかけていきます。			
	9 備品の管理簿を付け、行政財産と指定管理者のものを区別し分類別に分けて置きます。			
	10 市のごみ分別ルールに沿って資源ごみ、リサイクル、エコ活動に取り組み、環境衛生に心掛けていきます。			
	11 地域内の自治会・町内会長全員を対象に意見交換会を開催し、地域の要望収集に努めていきます。			
	12 稼働率の低い時間帯・部屋の仕様を拡大し利用し易い、施設の稼働率の向上を図ります。			
職員育成	1 職員・スタッフに対して個人情報保護に関する教育を継続して実施していきます。			
	2 情報の開示申し出があった時は開示申請者に当該開示申し出に関する文書を開示するようにします。			
	3 施設運営に当たって利用者から集める個人情報は必要最低限にとどめます。			
	4 保管場所・方法、暗証番号の設定、管理責任者等について定めた個人情報管理規定を設けて厳密な管理を行います。			
財 務	1 自主事業終了後の自主活動グループの立ち上げの協力、地域住民の輪を形成できるよう支援し、施設利用の活発化を図り利用料の目標額を達成します。その結果、利用者へのサービスとしての還元を増やせるようにします。			
	2 指定管理料の執行は、計画的な執行を図り、無駄な支出を失くすようにします。特に光熱水費の無駄遣いをなくすようにケアブラにも呼			

様式 13

	<p>びかけるようにします。</p>			
	<p>3 省エネルギーへの取組みを通じて光熱水費の削減を図ります。</p>			
<p>その他 (上記4 つの視点 以外の項 目があれ ば追記)</p>	<p>1 みなみコミュニティハウスとの連携をし、相互の特徴を活かした自主事業やイベントの企画・実施に努め、効率のよい管理運営を行っていきます。</p> <p>2 地域の活性化のために行政、学校、自治会町内会、地域の団体の協力を得て連携を図り福祉向上に努めていきます。</p>			
<p>利用者等 の意見</p>				

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載